ピアスの説明・同意書

R05.10 改定

【処置の方法】

消毒の後、JPS のピアッサーでピアスを取り付けます。局所麻酔は不要です。
※ ピアスを開ける場所は基本的に耳たぶのみです。

【料金について】

ピアス 1 ヶ所　　4500 円(税込)
ピアス 2 ヶ所　　6000 円(税込)
3 ヶ所以上を希望される場合には、1 ヶ所につき 1800 円(税込)の追加です。
上記料金は、ピアスと諸費用(手技料、処置後の抗生剤、処置用ジェル)を含みます。

【処置の偶発症について】

ピアスでは正常な皮膚に穴を開けますので、以下のような偶発症が考えられます。

・出血、血腫形成：組織を傷つけるので出血し、血液のたまり（血腫）を形成する可能性があります。出血しやすい疾患がある方は、処置は受けられません。
・ショック：疼痛による反射で一時的なショック（急な血圧の低下、失神など）を起こす可能性があります。

・処置薬による副作用：処置に使用する薬剤（局所麻酔薬や抗生物質）による副作用が考えられます。薬によるアレルギー、ショック、薬疹、肝・腎障害など。
　　アレルギーがある人は、必ず事前に申し出てください

【処置後の偶発症について】

様々な原因により、以下の偶発症が起こり得ます。

・感染、化膿、膿瘍形成：処置の際は十分に消毒を行いますが、それでも化膿を起こす可能性があります。また、自分で日々の処置を行う際にピアスホールを傷つけて化膿することが起こり得ます。化膿がひどくなると膿瘍（膿の溜まり）を作り、赤く腫れ上がります。糖尿病がある方は化膿しやすいので、特に十分な注意が必要です。
・金属アレルギー：金属が肌に合わないと、赤く腫れて皮膚炎を起こします。24 金やチタン、セラミックスならアレルギーを起こす可能性は低くなります。
・抗生物質による副作用：アレルギー、薬疹、肝・腎障害など。
・ケロイド、肥厚性瘢痕：傷が治る際に、盛り上がってしまうことです。

その他、ピアスの埋没、ピアスホールが裂ける、ピアスホールの閉鎖など。

上記の内容を理解した上で、処置を受ける事に「同意する」場合には、署名をしてください。

・ピアスの処置を希望し、自己の責任に於いて処置を受ける事に同意する。

日付　　署名　　（自署・親権者）